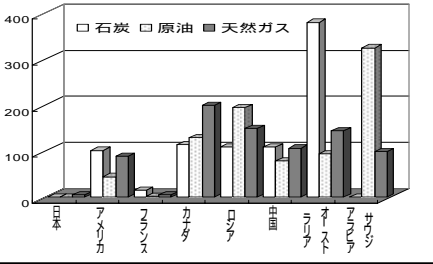


言語技術の効果的な活用・言語活動の充実を図った
社会科の授業実践例

大崎上島町立東野中学校

- 1 学年・単元名 第2学年 資源とエネルギー
- 2 本時の目標 地図やグラフから，日本が資源を安定確保するための方法を考察する。
- 3 本時の工夫点 2種類の資料から，資源分布の偏在，枯渇の危険性を読み取り，地球環境保護のために自分たちがどのようにしていかなければならないのかを考えさせる。
- 4 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)						
日本がこれからも資源を安定して利用するにはどうすればよいか考える								
<p>1 資源分布の現状を理解する。 資源分布の偏り(埋蔵量)を確認し，資源がなくなると私たちの生活がどのような影響を受けるか考える。</p>	<p>情報を的確に分析する技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採掘可能年数とエネルギー自給率，教科書の資料の関係を捉えながら分析させる。 ・既習知識や体験とつなげ考えさせる。 							
<p>主なエネルギー資源の採掘可能年数</p> <table border="1" data-bbox="228 969 523 1137"> <tr><td>石油</td><td>51年</td></tr> <tr><td>石炭</td><td>151年</td></tr> <tr><td>天然ガス</td><td>67年</td></tr> </table>	石油	51年	石炭	151年	天然ガス	67年	<p>主な国のエネルギー自給率(2002)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図やグラフから，資源分布の偏在，枯渇の危険性を読み取っている。(ワークシート・発表)
石油	51年							
石炭	151年							
天然ガス	67年							
<p>2 上の資料から，輸入に頼る日本が，限りのある資源を，わが国が安定確保するための方法を考える。 考えたことについて「なぜそう思ったのか」を示す。</p>	<p>生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源開発する ・省エネルギーを行う ・リサイクルを行う ・話し合いで使用量を決める ・外国から輸入する ・新エネルギーの開発 <p>根拠を示しながら説明させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本が資源を安定確保するための方法を考察している。(ワークシート・発表) 						
<p>3 考えを発表し交流する。 他の班の考えと自分の考えを比較しながらを聞き，質問・補足をする。</p>	<p>受け答えをする技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班内の考えを整理し，根拠を示しながら，順を追って説明させる。 ・他の班の考えをメモしながら聞かせる。 <p>情報を正しく伝える技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料(グラフ・表など)を使って説明させる。 							
<p>4 授業のまとめをする。 日本の豊かな水資源の使い方にもふれる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資源を大切にしていくなために，これから自分が行うことをまとめさせる。 							